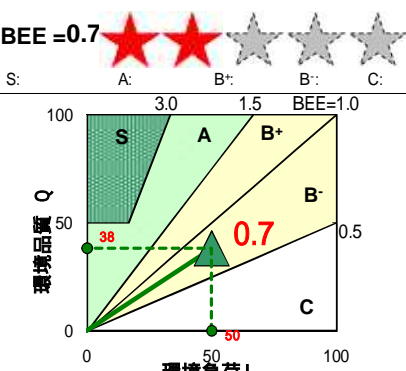


1-1 建物概要				1-2 外観	
建物名称	(仮称)かしわ台駅前計画	階数	地上5F		
建設地	海老名市柏ヶ谷字産川台636-4他6筆	構造	RC造		
用途地域	第一種住居地域、準防火地域	平均居住人員	88 人		
気候区分	地域区分	年間使用時間	8,760 時間/年		
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価		
竣工年	2014年8月 予定	評価の実施日	2013年10月28日		
敷地面積	2,210 m ²	作成者	大成ユレック株式会社		
建築面積	601 m ²	確認日	2013年10月28日		
延床面積	2,205 m ²	確認者	大成ユレック株式会社		

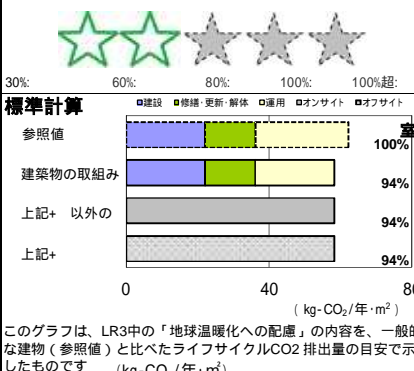
2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 0.7



S: A: B+: B: C:

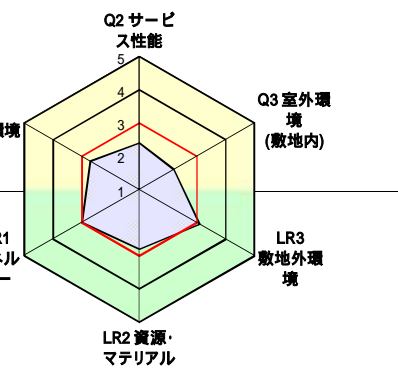
2-2 ライフサイクルCO₂ (温暖化影響チャート)



標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物 (参照値) と比したライフサイクルCO₂ 排出量の目安を示したものです (kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)



Q2 サービス性能

Q3 室外環境 (敷地内)

LR1 エネルギー

LR2 資源・マテリアル

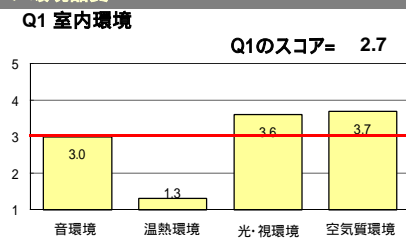
LR3 敷地外環境

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q のスコア = 2.5

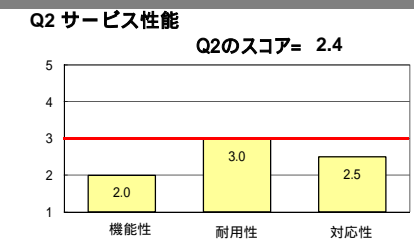
Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.7



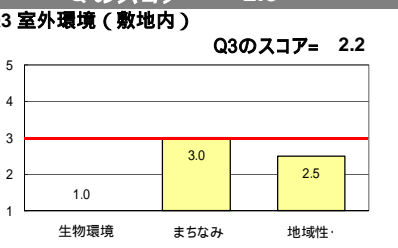
Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.4



Q3 室外環境 (敷地内)

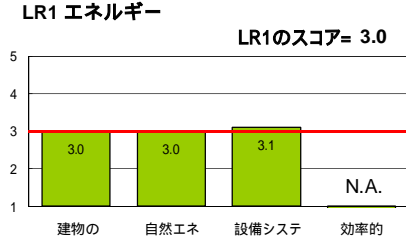
Q3のスコア = 2.2



LR のスコア = 2.9

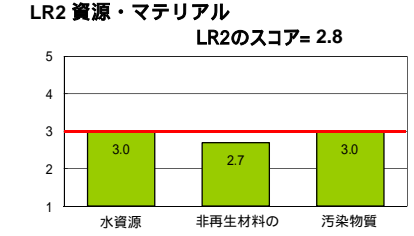
LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.0



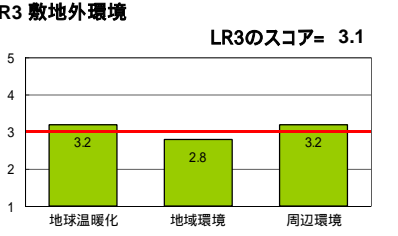
LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8



LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1



3 設計上の配慮事項

総合	その他	
敷地内をできるだけ緑化し、環境に配慮した設計としている。		
Q1 室内環境 内装材にF 規格品を採用し室内空気環境に配慮している。	Q2 サービス性能 設備配管に耐用年数の長いものを採用するなど、建物の長寿命化に配慮している。	Q3 室外環境 (敷地内) 敷地内に緑地および中高木を設けることにより、敷地内良好な緑地環境を創出している。
LR1 エネルギー 共用部に適切な照明器具を採用し、無駄のないエネルギー使用を実現している。	LR2 資源・マテリアル PS配管、床コロガシ配管の採用により、内装材と設備との錯綜がなく、部材の再利用可能性向上に配慮している。	LR3 敷地外環境 LCCO ₂ 排出量を参照値より約6%低減。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)

「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される